

ユキヒョウシンポジウム

— 動物園から野生まで —

日時：2015年10月4日(日)
12:30-15:40 (開場12:00)
会場：東京都市大学横浜キャンパス31A教室

主催：Liferbird twinstrust
共催：東京都市大学環境学部

※参加費無料・予約不要 (定員200名)
途中参加OK・どなたでも参加できます

©Tomo.Akiyama

後援 (アルファベット順) :



日本動物園水族館協会
JAPANESE ASSOCIATION OF ZOOS AND AQUARIUMS



公益財団法人 日印協会
The Japan India Association



JICA
(独) JICA横浜



Snow Leopard Conservancy India Trust



SWAROVSKI OPTIK

(公財) WWFジャパン

(公社) 日本動物園水族館協会

(公財) 日印協会

(独) JICA横浜

Snow Leopard Conservancy India Trust

スワロフスキー・オプティック

世界で最も高い場所に棲むネコ科動物、ユキヒョウ。白く長い毛をもつ美しい動物です。しかし近年、地球温暖化による生息域の減少や違法な乱獲によって生息数が減少。絶滅危惧種に指定されています。

本シンポジウムでは、野生のユキヒョウが置かれている現状と、生息数を増やすための対策、および日本国内におけるユキヒョウの飼育状況などについて紹介し、彼らの未来について考えます。

🐾 日時：2015年10月4日(日)12:30-15:40

🐾 会場：東京都市大学横浜キャンパス31A教室

開会挨拶

北村 亘 (Liferbird代表)

幻のユキヒョウを求めて インドにおける保全活動

秋山 知伸 (Liferbird, 野生動物写真家)

Tsewang Namgail 氏 (Snow Leopard Conservancy India Trust),

Jigmetl Dadul 氏 (Snow Leopard Conservancy India Trust)

モンゴルにおける調査

木下 こづえ (twinstrust代表)

日本国内における飼育状況

高津 磨子 氏 (多摩動物公園)

総合討論

坂東 元 氏 (旭山動物園 園長・獣医師)

※都合により、一部内容に変更がある場合があります



横浜市営地下鉄ブルーライン
中川駅下車 徒歩5分

〒224-8551
神奈川県横浜市
都筑区牛久保西3-3-1

問合せ先：Liferbird E-mail: snowleopard@liferbird.com
TEL045-910-2590 (東京都市大学 北村研究室)



ユキヒョウPROJECT

